

活動報告

田んぼ学校 宮原小学校〈田植え〉

6月14日、三段あるうちの一番下の田んぼを使い、宮原小学校の田んぼ学校を行いました。2回目の今回は田植えです。子どもたちの人数も多く、半分ずつしか出来なかったのですが、炎天下の中で泥だらけになりながらも笑顔で取り組んでいました。さまざまな職業がある中ですが、農業という体験を通して『楽しい!!』『またやりたい!!』という声が非常に貴重なように思えます。これからも立神峡公園では農業やさまざまな事を通して子どもたち、そして大人へと環境教育を行っていきます。



▲真剣な表情



▲もう少しで植え終わり!

田んぼ学校 東陽小学校〈苗取り〉

6月13日、東陽小学校の児童が苗取りを行いました。約1か月前に種をまいた田んぼを見て、児童たちの第一声は「大きくなって!!」「きれいに育ってる!!」という感想でした。苗の抜き方と去年の収穫で残しておいた「わら」を使い苗を縛る方法を指導し、いざ実践です。最初は難しく苦労していた子どもたちも慣れ始めたら非常に早く、誰が一番早く自分の周りの苗を抜くか競争していました。最後は翌日の田植えの準備として、「わら」で縛った苗をなるべく高く放り投げて、根を水につける投げ方を指導し、実践して終了となりました。苗の中には投げ方を失敗し、横を向いてしまったり、田んぼに入らなかったりしたものもありましたが、非常に楽しい苗取りと田植え準備となりました。



▲結ぶのが難しい

田んぼ学校 東陽小学校〈田植え〉

6月14日、前日の苗取りを楽しく終え、田んぼの醍醐味の一つである田植えをいよいよ行うとあって、朝から真剣な表情の子どもたちでした。家庭で手伝ったことがある子どもたちも、初めて見る道具に目を丸くして説明を聞いていました。親綱に引き綱、はかり棒など一昔前の道具の使い方に「へえ~!!」という声がいくつも上がっていました。説明を終るといよいよ田植えの実践です。印の部分にまっすぐ前日の苗を植えていき、深すぎたり、浅すぎたり、斜めに植えてしまったりしながらも、みんなで声を揃えて後ろの列に移動し、テンポよく田植えを行っていました。縦と横にきれいに植えられた田んぼを見て、「おお~!!」という達成感に満ちた感想が聞こえていました。みんな満足して作業を終え、振り返りの時間も作業の手順をお互いに言いながら確かめるなど、活気溢れる振り返りとなりました。



▲腰がいたい~

立神峡公園のバーベキューの利用方法が変わりました

- ◆バーベキューは「完全予約制」となりました。
- ◆ご利用時間が9時から17時までとなりました。
- ◆火の広場(フリーサイト)の利用は4組30名までです。
- ◆広場駐車場への駐車は1グループ1台のみです。そのほかのお客様は第1駐車場または第2駐車場に駐車してください。
- ◆キャンプ場に空きがある場合はバーベキューも可能です。(宿泊者優先)

立神峡管理棟からのご願い

- ◆管理棟に必ず受け付けをしてください。また、受け付け後に「札」をお渡ししますので、車のダッシュボードの上に分かるように置いてください。(札が置いてない車両は発見次第移動をお願いします)
- ◆ゴミは全てお持ち帰りをお願いします。皆さまが楽しく利用できるよう、お互いに譲り合って利用していただきますようお願いいたします。

お問い合わせ・お申し込み先

立神峡公園管理組合 ☎62-1543 tategamikyou@yahoo.co.jp (8:30~17:30 火曜定休日)

町民文芸

短歌

エプロンを背越しに掛けられ厨房は
共に作りし絶品の味
法道寺 本田 花風

十二種の野鳥が宿る我が時計
六月となりて不如帰鳴く
北野津 宮本 末秋

しろがねの雨粒のせて蓮の花
しばし見とれて大粒の雨
高塚 桑原ゆき代

雑草取りを終へたる後に又生ゆる
雑草のいのちの力に脱帽
吉本 高橋 澄子

一人居て甘く酸っぱい夏柑を
ふくみて細き眼閉じおる
西野津 古崎スエノ

老いゆけど一歩進みて朝化粧
亡母の口ぐせ口紅を引く
南鹿野 尾崎 京子

盆なれど無縁仏は迎え火で
待つ家も無くどこをさ迷う
吉本 橋村 正之

俳句

舞ふる上る鳥羽の風に吹かれたる
行き先き知れず消えしけり
西野津 古崎 栄子

何に事も人氣があれば日本一
使いこなせよ彦一頓智
高塚 竹中 力

声しぼる一生かぎりの蝉の声
七日七夜の無常のしづく
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

トラクタや鷺引き連れて田打かな
北野津 宮本 末秋

かはせみのこち向きとまり素早さよ
高塚 桑原ゆき代

サロンにて茗荷万十作りけり
吉本 高橋 澄子

廃校は八十路も招き花吹雪
西野津 古崎スエノ

田植田の水を振らして青蛙
南鹿野 尾崎 京子

薔薇咲きぬしばし和む我の庭
西野津 古崎 栄子

人ふえて蜻蛉も増え芝広場
町 香山菊童子

麦藁で編みし手籠のなつかしき
町 香山セツ子

しつこいな月夜も啼くかほととぎす
高塚 竹中 力

河鹿鳴くこの世の何を論すべき
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

梅雨明けて童の声の空に飛ぶ
町 田中 澄子

笑みこぼし妙技おりなす夏の色
桜ヶ丘 宮崎トシ子

ツイゴイネルワイゼン
ー記憶の中で
法道寺 本田 花風

校庭の放課後、屋上の大きなスピーカーから突然、バイオリンの音色、これが私にとって真の音楽との出会いであった。当時その曲名を知っていたのか定かでない。ツツツツツと始まる情熱的で哀愁溢れる旋律で切々と奏でるその音に私はまさに直立不動で引き込まれていました。ツイゴイネルワイゼンが後にヴァイオリン作品の代名詞と言われていることを知った時、その時の直立不動も然るにありなん。

昭和の三十年代中葉、なりたての青年のころクラシックに親しむきっかけでした。

仏は辛いよ

吉本 橋村 正之

人生幕が降りたなら
それより仏の扱いて
狭い仏壇入れられて
線香の煙むせながら
涙の分からぬ経を聞く

位牌に戒名書かれたら
もはやあの世の人となる
輪廻の定めもあるうけど
なんとしてでももう一度
人間界に戻りたい

此頃我が家は友達を
呼んではパーティー盛んだが
そんな余裕が有ったかな
思い出したそこの俺が
生命保険に入ってた

俺にも供え欠かさぬが
眺めるだけよ食べられぬ
そこの仏の辛いよ
見れば見るほど旨そうだ
生つば飲んでナンマイダ

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。